



GH協通信 再開いたしました

猛暑の候 みなさまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
しばらく休載しておりました、GH協通信を再開いたしました。
充実したコンテンツにしていまいますので、何卒よろしくお願い申し上げます。
事務局 一同

令和7年6月19日 いわき地区 研修会のご報告

第1回 いわき地区研修会

グループホームにおける認知症ケア ～中核症状とBPSDの境界線から考える～

■開催日 令和7年6月19日(木) 10:00～16:00より

■開催場所 かしま病院コミュニティーホール
(福島県いわき市鹿島町下蔵持里哉7)

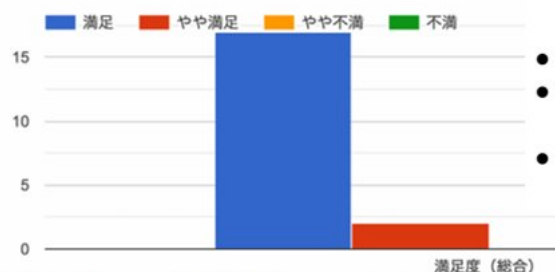
■講師 特定非営利活動法人 豊心会
副理事長・総括本部長 橋本 好博 氏



アンケート結果 ※一部抜粋しております。HPにアンケート結果詳しく載せております。

参加申込者：28名（うち運営5名）
参加者：27名（うち運営5名）
アンケート回答：19件（回収率70.3%）

1-1. 今回の研修内容はいかがでしたか？



研修会の感想 ※一部抜粋 HPにて詳細ご覧ください

- 出来ない事を介助するだけでなく出来ない事を出来る様にする為の介助という言葉役立てたいと思います
- 講義やグループディスカッションを通して、認知症を患う入居者の抱える障害や出現する症状を介護者は理解し、よく観察してその方のできないところをどのようにサポートするか、できるところをどれだけ活用できるかを日頃から考慮することが良いケアに繋がると感じた。
- BPSDと中核症状の境界線の理由・食べてしまうからなくしてしまうのではなく、ご本人様の感情を大切に。アフターフォローを考え、豊かな生活を送っていただけるように職員一人一人が考えながら、利用者様を理解する姿勢が本当に大切なことであると理解出来ました。
- 短期での対応を考えるのではなく、長期的な対応も考える必要がある事を学びました。
- 講義中は、他グループホームとのグループワークもあり、いろいろな意見を聞きながら研修できたので、とても良かった。
- 認知症の基本的な知識のおさらいから対応と配慮のニュアンスの違い、アフターケアまで意識することを改めて学びました。終始楽しい研修でした。

アンケート結果 ※一部抜粋しております。HPにアンケート結果詳しく載せております。



特定非営利活動法人

福島県認知症グループホーム協議会

会員状況（令和7年7月7日現在）

■正会員 173事業所
■準会員 8団体・個人1名
認知症デイ 事業所・小規模 事業所

※管理者・ユニット数など届出事項に変更があった場合には、
速やかに事務局まで連絡くださるようお願いいたします。

福島県GH協通信 第51号

令和7年 7月 7日

<編集・発行>

〒960-1241 福島市松川町字産子内1-1

福島県認知症グループホーム協議会 事務局

TEL 024-572-7630 FAX 024-572-7631

メールアドレス：fukushimaninchi@cyber.onc.ne.jp

